



小学生のがん教育と がんの子ども

2016年2月6日(土)
13:30~17:00
[会場] **アバンセ (佐賀市)**

超高齢化社会を迎える日本では、がんは年々増加し、二人に一人ががんになり、三人に一人はがんで亡くなるほどになった。がんは健康問題にとどまらず、経済問題を含め、今や大きな社会課題であるが、がんは「予防」により大きく減らすことが可能である。その予防の姿勢を身につけるには、子ども時代での教育が重要だが、なかなか進まないのが現状だ。また、子どものがん教育に、小児がんの問題を避けては通れない。学校の先生は多忙で、一人でがんを教えるのは難しい。そこをどうやって乗り越えていくか、みんなで考えて行こう。子どもの未来と国の将来のために。

シンポジウム プログラム

[司会] ●望月 友美子 (国立がん研究センターがん対策情報センターたばこ政策研究部部长) ●中川原 章 (佐賀県医療センター好生館理事長)

開会の挨拶 ●池田 英雄 (佐賀県副知事) ●北川 知行 ●中川原 章

こどもミュージカル 『小児がん 負けないよ! ささえるよ☆』 ●ティーンズミュージカル SAGA

シンポジウム

●第一部 小児がん、生きる

『「小学生のがん教育を考える会」の検討から』 ●北川 知行 (UICC 日本委員会 委員長、(公財)がん研究会 がん研究所 名誉所長)

『小児がんの正しい理解と支援』 ●稲田 浩子 (佐賀県医療センター好生館 小児科部長)

『僕と白血病』 ●林 志郎 (九州沖縄広域小児がんネットワーク QOL+(クールプラス) 代表)
～小児がん経験者の体験から思うがんのこどもとがん教育～

●第二部 生きる喜び、命の大切さ

『いのちを育むがん教育を考える』 ●前川 育 (NPO 法人周南いのちを考える会 代表)
～子供を亡くした母として、がん経験者として～

『モデル中学校の経験から』 ●土岐 洋二 (武雄市立川登中学校 教員)

『患者が伝えるいのちの授業』 ●三好 綾 (NPO 法人がんサポートかごしま 理事長)

●第三部 予防 (大人のがんの予防)

『食育を通して生活習慣を改善する取組み』 ●菖蒲 彩 (武雄市立若木小学校 教員)

『小児がん、AYA 世代に配慮したがん教育』 ●天野 慎介 (一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン 理事長)

特別発言 ●垣添 忠生 ((公財)日本対がん協会 会長)

[会場] **アバンセ** 佐賀県佐賀市天神三丁目2-11 TEL 0952-26-0011

●JR 佐賀駅より徒歩 10分 ●佐賀大和 IC より車 20分
●JR 佐賀駅よりバス 5分
佐賀駅バスセンター2番乗り場より58、59番乗車、「どん3の森前」下車

参加費無料
一般の方大歓迎



- 主催 UICC 日本委員会、日本対がん協会
- 後援 文部科学省、厚生労働省、日本医師会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本小児血液・がん学会、日本小児科学会、日本学校保健会、佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀市、佐賀市教育委員会、佐賀県医師会、佐賀県歯科医師会、佐賀県薬剤師会、佐賀県看護協会、佐賀県栄養士会、佐賀県総合保健協会、佐賀県社会福祉協議会、佐賀大学